

未入金の追いかかけ、 AIに任せてみる

売掛金の消込・督促を自動化する

3つのアプローチ

毎月の入金消込や未入金の督促で経理担当者が消耗していませんか。

free・マネーフォワードのAI機能とノーコードツールを組み合わせ、
売掛金管理の手作業を段階的に自動化する3つのアプローチを解説します。

株式会社DnD — DISTILL N DEVELOP | 2026.09.13

この資料の要点

- 入金消込・未入金検知・督促メール生成は、クラウド会計（free・マネーフォワード）と銀行口座連携だけで大幅に省力化できる
- 未入金アラートと督促メールの自動送信は、n8n・Make・Power Automateなどのノーコードツールで実現できる。送信前の人確認ステップを残すことで関係を損なわない運用が設計できる
- 生成AIを使えば取引先の属性（取引年数・金額・過去の入金状況）に応じたトーンの督促文面を自動生成できる。一律の硬い文章ではなく状況に合わせた柔軟な対応が可能になる

売掛金管理の「手作業の壁」

売掛金管理とは、商品やサービスを提供した後に代金を回収するまでの一連の業務のことです。取引件数が少ないうちは手作業でも対応できますが、件数が増えるにつれて問題が出てきます。

- 銀行明細との突合作業**：月末に銀行の入金明細をExcelにコピーし、請求書の一覧と一件ずつ照らし合わせる
- 未入金の見落とし**：期日を過ぎた未入金に気づかず請求書が「放置」される
- 督促の先送り**：「関係が悪化するかも」と考えて後回しにしてしまう

AIで自動化できる3つの業務

① 入金消込の自動照合

銀行口座への入金明細を会計システムに自動取り込みし、AIが過去の取引パターンをもとに「この入金はこの請求書と対応するか」を自動で判定します。freeeやマネーフォワードクラウドでは銀行・クレジットカードとの口座連携機能が標準で備わっており、AIが仕訳の候補を自動提案します。

② 未入金の自動検知・アラート

入金期日を過ぎても消込が完了していない請求書を自動で検知し、担当者へSlackやメールで通知する仕組みです。クラウド会計の「売掛金レポート」機能を起点に、n8n・Make・Power Automateなどのノーコードツールで「期日超過〇日で担当者に通知」というフローを組むことで実現できます。

③ 督促メールの文面を自動生成

未入金が確認されたとき、生成AIに取引先情報と請求内容を渡して督促メールの文面を自動生成させる方法です。取引年数・金額規模・過去の入金実績などを条件として与えることで、状況に応じた文体を出力させることができます。

3つのアプローチ比較

アプローチ① クラウド会計の標準機能だけで始める

freeeまたはマネーフォワードクラウドに銀行口座を連携し、AI自動仕訳を使い始めるだけです。追加ツール不要で、クラウド会計ソフトを契約していれば今すぐ始められます。

向いている企業：月に請求書を10～50枚程度発行している中小企業

アプローチ② ノーコードツールで未入金アラートと督促フローを自動化する

未入金検知→担当者通知→督促メール送信の自動フローをn8n・Make・Power Automateで構築します。freeeもマネーフォワードもAPIが公開されており、ノーコードツールから連携できます。

向いている企業：月に未入金の督促が複数件発生している会社

アプローチ③ 生成AIで督促文面を取引先ごとに自動調整する

Claude・ChatGPTなどのAPIをノーコードフローに組み込み、取引先の属性に合わせた文体の出し分けを導入します。担当者が担う作業は「アラートの確認」と「送信の承認」の2つに絞られます。

向いている企業：取引先が多様でトーンの使い分けが必要な場合

始める前の3つのチェックポイント

- ・データの一元化が前提になる（請求書発行から入金管理を同一システムで）

- 例外処理のルールを事前に決める（分割入金・一括入金・振込名義不一致など）
- 督促フローの承認ステップは残す（完全自動送信は実績を積んでから段階的に）

株式会社DnDのご支援

クラウド会計ソフトとノーコードツールを組み合わせた売掛金管理の自動化設計から、生成AI活用による督促フローの構築まで、中小企業の実務に合ったご支援をしています。

「何から手をつければいいのかわからない」という段階からのご相談も歓迎です。

<https://dnd-inc.jp/contact.html>